

## 序 文

福生市の民俗調査は福生市文化財総合調査の一つとして、昭和49年より開始いたしました。既に、年中行事、人生儀礼、生業、諸職につきましては調査を終了し、報告書にまとめております。今回、報告書に作成いたしました「ムラのくらし」は、昭和55年度より調査を実施いたしました、第4次民俗調査班の調査項目である経済生活、社会生活についての調査報告書でございます。

福生市は首都・東京の近郊都市として、昭和10年代より都市化の様相を呈し、特に、戦後は著しい宅地化の波にあらわれ、武蔵野のおもかげは姿を消しつつあります。従来の生活様式は一変し、行事や様々な儀礼も今は急激に失われつつあります。そのような生活文化については早急に記録保存する必要があります。本報告書が、文化財の保護と活用に役立てられ、地域の文化向上、文化創造に貢献するものとなり、学術研究等に活用されれば幸いと存じます。

おわりに、この調査に御協力を賜りました多数の市民の方々に御礼申し上げるとともに、困難な調査に御尽力を賜りました調査員各位に対し、心から厚く御礼申し上げます。

昭和60年3月1日

福生市教育委員会

教育長 森 田 猛